

地域と学ぶ

山形大学地域教育文化学部

本学部では、異なった専門的知識を有する学生が協働で地域社会における課題を認識し、その解決に携わる能力を育成するため、一昨年度より地域連携型の授業「フィールドプロジェクト」を実施している。本年度は11の授業が開設され、筆者は「フィールドプロジェクトA(まちづくりと社会参画)」を佐藤慎也教授、江間史明教授とともに担当している。

本授業は、行政機関やNPOなどとの協働により、「持続可能な地域社会づくり」「生涯学習社会の実現」に関わる多様な知識と経験を蓄積・共有する」という実践的な志向に基づいて実施されている。一昨年度の授業開始以来、山形市を本拠に子育て支援に当たっ

社会教育学 安藤 耕己 准教授

ているNPO法人「やまがた育児サークルランド」と主に協働し、地方都市における少子化対策にも関わらず子育て支援事業との関わりを構築している。

本年度は23人の受講者があり、まずは、山形市の補助事業としてやまがた育児サークルランドが運営している子育て支援施設「子育てあべ」(同市七日町)、さらに同法人が山形市から一部業務委託されている、山形市児童遊戯施設「べにつこひろば」(同市榎越)での子育てボランティアを、一連の研修を経て実施する。またこれにより、学生が子育て世代と交流し、子育ての楽しさ・大変さなどを体験的に理解できることが、昨年度の受講生のコメントからもうかがえる。

次に、受講者は教員主導、心理学専攻、さらに建築を専門とする学生らで構成されているため、上記施設の

多様な知識活用、課題解決



▽1972年生まれ、岩手県出身。山形大着任は2010年。

な視点での案を提起するためのワークショップも実施予定である。いずれ授業全体を通して、地方都市における「公共性」「公共空間」構築のあり方に関する現状と課題とを、学生が具体的に考察できることを期待している。

11月1回掲載します

「子育てランドあべ」で実施したボランティア実習

2015年8月